

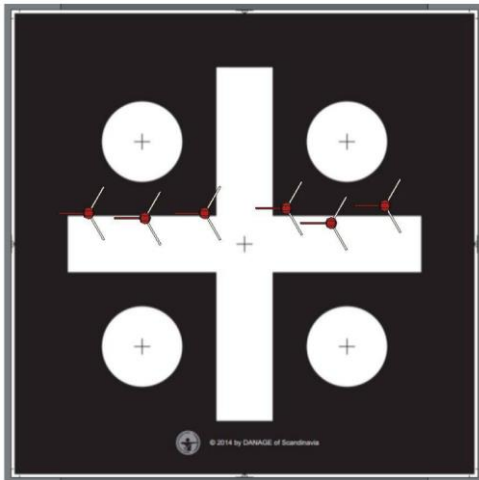


DANAGE チューニングターゲットフェイス

- チューニングガイド -

DANAGE のチューニングターゲットフェイスでは、基本的なチューニングを行った後で、さらに弓の性能を引き出すために行われるファインチューニングの一種であるウォークバックチューニング、+(プラス)チューニングと呼ばれるチューニングを簡単に行え、かつ、記録することができます。

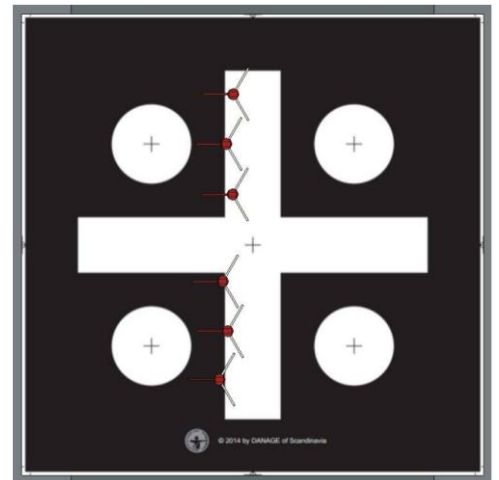
四隅にあるターゲットスポットはチューニングでは使用しません。チューニングを行う前の練習、ウォームアップに使用してください。



的はアーチャーの技量にもよりますが、12m 以上は先に設置しないとパラドックスの影響で正しい結果が出ない可能性があります。ベアシャフトでは正しい結果はできません。まずは、左の図のように水平のラインを狙って 6 本の矢を射つます。基本的なチューニングが完了していることを前提に、このチューニングでは、基本的なチューニングで決めたノッキングポイントの高さ、または、レストの高さを 1/32 インチ(0.8mm)の範囲内で移動させ、最も上下のばらつきが最も少ない場所を探ります。

次に、垂直線に沿って 6 本の矢を射ちます。このチューニングでは、リカーブの場合ではバネのテンションの強さを調整します。プランジャーの調整機構を 1/8 から 1/16 回転ずつ回転させ、6 本の矢が一直線に並ぶように調整します。調整をするときは元に戻せるようにスタート位置を必ず記録しておきましょう。

コンパウンドではレストの左右を変えてチューニングします。スタート位置を基準として、1/32 インチ(0.8mm)ずつ調節し、6 本の矢が一直線に並ぶように調整します。



これらのチューニングを短距離(たとえば 12m)で行った後、ウォークバックチューニングを行うことができます。このテストでは 15m での垂直線の一番高い位置にサイトを合わせて 1 本矢を射ちます。少時的から遠ざかり 1 本射つことを繰り返し、最終的に同じサイトで同じ場所を狙い、6 つの異なる距離で射ちます。少しずつ遠ざかっている(Walk-back)ので矢は少しずつ前の矢より下に下がり、それを繋げることでラインができます。

この時、(右射ちの場合)矢が下に行くほど左に行くのであれば、リカーブではプランジャーを柔らかくする、コンパウンドではポンドを上げることで調整できます(レストの位置で調整できる場合もあります)。矢が下に行くほど右に行く場合、また、左射ちの場合は逆のことを行ってください。